



にんじん



発行日：令和7年12月5日

1. 卸売価格の動向

○183円/kg (12月2日)

➢ 平年比：154%

○12月の価格見通し

やや平年を上回って推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○533円/kg

(11月14日全国平均)

➢ 前月比：129%、平年比：137%

➢ 東京：244円（3本）

➢ 大阪：216円（3本）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：5/20（前月7/20）

➢ 大阪：5/10（前月2/10）
(機構調べ)

3. 家計消費動向

○222g/人 (10月全国平均)

➢ 前月比：112%

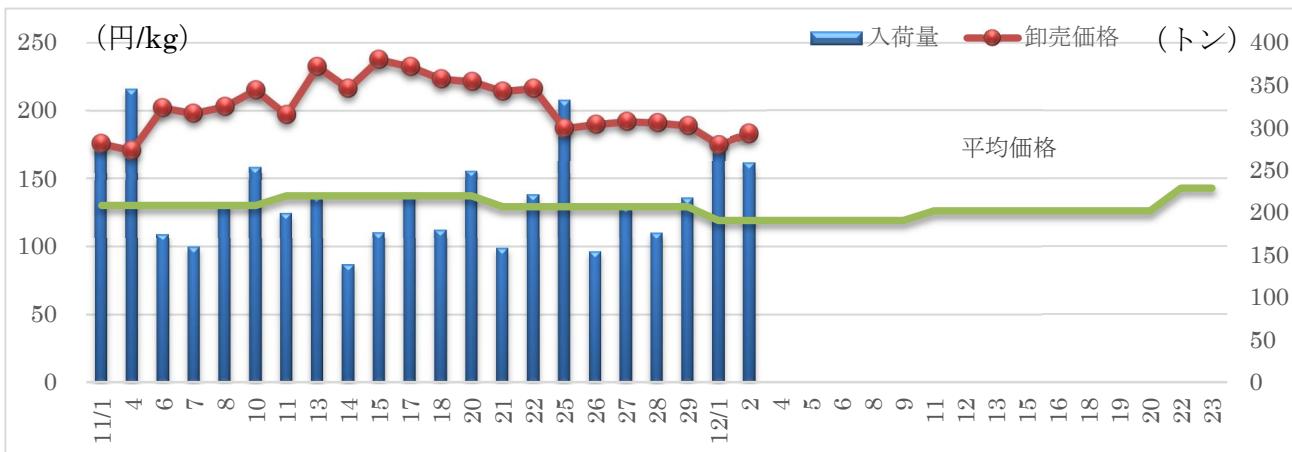
➢ 前年同月比：88%

○2,556g/人 (2024年年間)

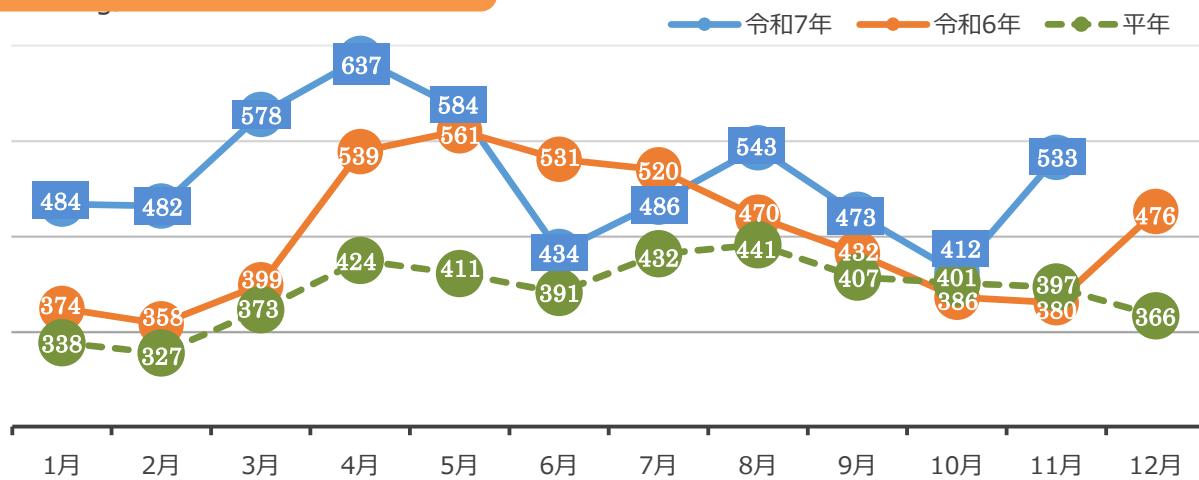
➢ 前年比：97%

(総務省統計局家計調査)

4. にんじんの入荷量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



5. にんじんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道富良野 (8/25)	増加	平年並み	平年並み	平年並み
青森県三沢 (7/23)	前年並み	やや不良	平年並み	平年並み
茨城県鹿島 (10/17)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
愛知県碧南 (11/10)	前年並み	平年並み	遅い	-
沖縄県糸満 (11/10)	前年並み	平年並み	遅い	-

*特記ない場合は平年比。（）内は調査日。

（機構調べ）



愛知県碧南：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報（12/6~1/2）

週別の天候				
12/6～12/12	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。			
12/13～12/19	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。			
12/20～1/2	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
平均気温（1か月）		降水量（1か月）	日照時間（1か月）	
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少20 並50 多30% 平年並の見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並が少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
西日本	日本海側	低20 並40 高40% 平年並が高い見込み	少40 並40 多20% 平年並が少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並が少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み

（気象庁1ヶ月予報）

8. 輸入動向（生鮮にんじん）

○9,136トン（10月輸入量）

➤ 前年同月比：136%

○輸入先国ベスト3

- | | |
|-------|---------|
| 1位 中国 | 8,767トン |
| 2位 豪州 | 356トン |
| 3位 米国 | 11トン |
- （財務省貿易統計）

12,000 (トン)

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

■令和7年
■令和6年
■平年

9. 一口メモ

11月は、北海道産、青森産が終了する一方で後続の千葉産が夏場の播種期に灌水ができなかった等により生育遅れで端境となり、また細物が多く高値で推移した。

12月も千葉が主産地だが、出荷数量は少なかった前年並み、やや平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>
<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793